賑岡地区社会福祉協議会広報誌

# にぎおかの住民ふくし

第 12 号
平成 30 年 4 月 1 日

発　行
賑岡町社会福祉協議会
会長　節子 熙代司
（大月市社協内）
電話２３－２００１

# 平成29年度 赤い羽根 共同募金運動

## 皆様より ご協力いただきました!!!（平成29年10月1日～12月31日）

赤い羽根の募金活動は、まちの人のやさしい気持ちを集める活動です。あなたのやさしさが、あなたの声かけが、あなたの行動が、きっと、まちを変えていくはじめの一歩となるはずです。もっと、もっと、良いまちになりますように。

全国的に毎年恒例となっている赤い羽根共同募金運動が、今年度も10月1日～12月31日まで実施されました。

募金は、民間の地域福祉を支える活動に使われています。具体的には、ふれあいいきいきサロンの運営や市内各地区老人憩いの家備品整備及び修繕事業、子どものあそび場整備事業などに使われているほか、友愛訪問事業やボランティア育成事業など、大月市内の地域のための事業から障がい者作業所などの社会福祉施設の整備・改修まで、様々な民間社会福祉活動を支援しています。特に、賑岡地区社協で実施している、あんしんカード事業や地域見守りマップの推進をはじめ、各事業にも、この共同募金が充てられています。

賑岡地区では毎年、区長さんや自治会長さんに取りまとめていただいて、平成29年度も　皆様に多大なご協力をいただく中で七二二、六四一円もの尊い募金が集まり、充実した運動が実施できました。ありがとうございました。この赤い羽根の募金活動は、人のやさしい気持ちを集める活動です。

それでは賑岡地区住民の皆様!!!今後とも、宜しくお願いします。

じぶんの町を良くするしくみ。
www.akaihane.or.jp
赤い羽根共同募金

●平成 29 年度の募金額について

| 募金種別 | 金　額 | 募　金　者 |
|---|---|---|
| 戸別募金（世帯） | 614,000 円 | 1,144 世帯の地域の皆様 |
| 大口募金（企業等） | 100,000 円 | ㈱龍美建設・賑岡診療所・矢貝商事㈱・㈱ＷＩＺｎｅｔ・㈱平井製作所・㈲八光社・シミズ光機㈱・福祉工房・㈱ナガオカ精密・山の都福祉会・㈱大月自動車学校・㈱卯月林業（順不同・敬称略） |
| 募金箱設置 | 8,641 円 | ㈱大月自動車学校・賑岡診療所・福祉工房・山口館・森屋荘・山の都福祉会（順不同・敬称略） |
| 募金額合計 | 722,641 円 | |

●賑岡地区に対する、主な共同募金の使い道

| 募金年度 | 事業年度 | 地　区 | 事　業　内　容 |
|---|---|---|---|
| 21 | 22 | 神倉 | テレビ一式 |
| 22 | 23 | ゆりケ丘 | 老人憩いの家　座卓テーブル整備 |
| 23 | 24 | 岩殿 | 老人憩いの家　屋根塗装 |
| 24 | 25 | 西奥山 | 老人憩いの家　カーペット張替 |
| 25 | 26 | 石動団地 | 集会場　カーペット張替 |
| 26 | 27 | 浅利団地 | 集会場　ガス給湯設備等 |
| 27 | 28 | ①強瀬②上畑倉 | ①、②ともに老人憩いの家畳整備 |
| 28 | 29 | ①浅利②日影 | 老人憩いの家 ①畳整備②椅子等 |
| 29 | 30 | ①下畑倉②東奥山 | 老人憩いの家①放送機器②畳整備 |

## 共同募金モデル事業における小学生との協働作業を行ないました

10月27日（金）、大月東小学校敷地内において、恒例となっている大月・真木地区社協と大月東小学校との協働事業として、プランターの花植え作業を行ないました。プランターには大月東小学校6年生の描いた地域への想いなどのメッセージで彩られ、綺麗な花をさらに引き立ててくれています。このメッセージ付きのプランターですが、大月商店街を中心に、賑岡地区、大月地区の商店や医療機関、福祉施設などに募金箱とともに設置しています。（募金箱は12月末に回収しました）

また、そのプランターへの水やりにご協力いただいている皆様、ありがとうございます。賑岡地区内の設置個所は、次のとおりです。

【プランター設置個所（賑岡地区内）】（株）大月自動車学校（募金箱設置）・神宮橋バス停・賑岡診療所（募金箱設置）・（株）ＷＩＺｎｅｔ第2工場・上畑倉公民館・福祉工房デイサービス（募金箱設置）・山口館（募金箱設置）・森屋荘（募金箱設置）・西奥山公民館前バス停・山の都福祉会（募金箱設置）・浅利公民館・タイムリー・東京電力駒橋制御所・ゆりケ丘集会場前ロータリー・神倉公民館

《順不同・敬称略》

## あんしんカードについて

**登録申し込み受付中！**

高齢者世や一人暮らし高齢者の方、障がい者の方などを対象に、緊急時の「万が一」に備え、家庭内保管用と外出時の携帯用を作成発行します。

☆お問い合わせは☆
①賑岡地区社会福祉協議会
電話２３－２００１
（大月市社協内）

または…

②お住まいの地域の
民生委員さん

# 賑岡地区社協では 住民相互のささえあいや見守り活動を推進しています!!!

▶地域見守りマップに取り組んでいる様子（平成29年9月下畑倉区）

## 地域見守りマップに取り組んでみよう!!!

【見守りマップとは】地域の「気になる人（支援が必要と思われる人）」とその人への住民の関わりを地図に落し込み、地域住民の繋がりなどを把握して、その地域の福祉課題等を見出すものです。

【なぜ必要なの？】地域福祉を進めるには、「公助」に加えて「共助」と「自助」が機能しなければ効果的に進みません。公助のみに頼ると制度やサービスの隙間が生まれます。この隙間に対応できるのは、「住民同士の支え合い（共助）」です。

【見守りマップから調べること】

・要支援者に誰がどのような事で関わっている？
・助けあいのキーパーソン（世話焼きさんなど）はいる？
・要支援者は、どのような自助努力をしている？
・住民の皆さんが寄り集まるところはどこですか？（畑、○○さんのお宅…など）
・地域にどのような生活課題がありますか？（高齢化、買い物、交通の便など）

これらを整理して、住民みんなで要支援者への新たな支援方法を考えたり、地域の課題を抽出したりします。まずは、ご相談ください!!!

## ご近所たすけあいメッセージボード

9月23日（土）に山の都福祉会の納涼祭、9月30日（土）に東奥山の福祉工房デイサービスの秋祭りへお邪魔し、『ご近所助け合いメッセージボード』を設置して、大勢の来場者の皆さんに、ご近所の助け合いとしてしていること、できそうなことをメッセージカードへ記入していただきました。山の都福祉会では、多くの高校生をはじめとするボランティアが活躍していました。また福祉工房でも、たくさんのボランティアが活躍していました。そして今回も、ボランティアとして福祉工房へ来場していた市議会議員の小林信保さんが、社協ブースのお手伝いをしてくれました。

今後の地区社協活動を進める上での重要なヒントとなり得る、賑岡地区内の住民をはじめ、皆さんの素晴らしい声を知ることができ、充実した取り組みになったと思っています。

そしてここがポイント!!!それぞれの施設では、多くのボランティアさんにご協力をいただいて運営することで、ボランティアを育成し、地域福祉に貢献されているんです!!!地域と施設が互いに育てあえる良い関係を続けていきたいですね。

賑岡町住民の皆さん、山の都福祉会と福祉工房の皆さん、市議小林さん、ありがとうございました。

◀福祉工房管理者池川さん（左３番目）、福祉工房社長小俣さん（左２番目）、市議小林さん（左１番目）

## 社協活動の先進地視察へ行ってきました。 ～ともに支えあう地域づくりを～

2月13日（火）に地区社協の視察研修として、役員の皆さんで神奈川県葉山町社会福祉協議会へお邪魔してきました。

葉山町社協は、小地域福祉活動を積極的に推進しています。小地域福祉活動は大月市でいうところの地区社協活動です。そんな葉山町でも特に積極的な葉桜地区の助け合い活動のお話を聞いてきました。何とも驚いたのは、活動の在り方・考え方です。助け合い活動の対象が全住民とのことで、「ふだんのくらしをしあわせにする」が実現されています。賑岡地区でも、この様な助け合いが育まれていくと良いですね。

今回の視察で、一つの共通点を見つけました。葉山町では、福祉マップを活用して活動している地域が多いようです。

今回も、活動に対する、地域の役員の皆さんの熱い思いで事業が成り立っていることを実感しました。

そして研修の傍ら、鎌倉や江の島の観光も楽しませていただきました。

賑岡地区社協にとっては、とても刺激を受けた、実りある視察研修になりました。

## みんなで考える住民福祉懇談会!!!

11月中旬から12月中旬にかけて大月市社会福祉協議会では、各地区社協と協働して、各地区ごとに住民福祉懇談会を開催しました。賑岡地区においては、12月2日（土）に開催し、なんと70名余りの多くの方々に参加していただきました。8グループに分かれ、素晴らしいアイディアや意見が沢山挙がっていました。

この度の懇談会の意見、更にご近所たすけあいメッセージボードの意見を基に役員会などで多くの議論を重ね、平成30年度～34年度の「賑岡地区住民福祉活動計画」を策定しました。この計画は5月に賑岡地区内へ全戸配布する予定です。今後の地区社協事業などの活動は、この計画に基づいて地区社協活動を行なっていきます。

また、懇談会の意見は、大月市地域福祉計画や大月市地域福祉活動計画へも反映されます。

今後とも皆様にご協力をお願いするとともに、地区社協活動の趣旨をご理解いただけたら幸いです。

賑岡地区住民福祉活動計画
（平成３０年度～３４年度）
つながり支えあおう！
みんな地域の一員！
賑岡地区社会福祉協議会
平成３０年　３月

## 助けられ上手な人になろう!!! ～ご近所同士の助けあいを推進しています～

賑岡地区社協では、助け合い・支えあい啓発のためのポスターを作成しました。現在、各区の公民館・集会場などに掲示していただいてあります。

人が困ったときに誰を頼るのか？…出かける際に、「留守をよろしくね！」などと昔はお願いして出かけましたよね？そんな人と人とのつながりを保っていきましょう。「遠くの親戚より、近くの他人」とはよく言ったものです。もちろん遠くにいる身内も頼れるかもしれませんが、とっさのときにはご近所さんに頼れるといいですよね！

ポスター掲示にご協力いただける方、募集しています。宜しくお願いします！